



Creative Application A27

美とメディア実装2

「インフラストラクチャ」長く在るには

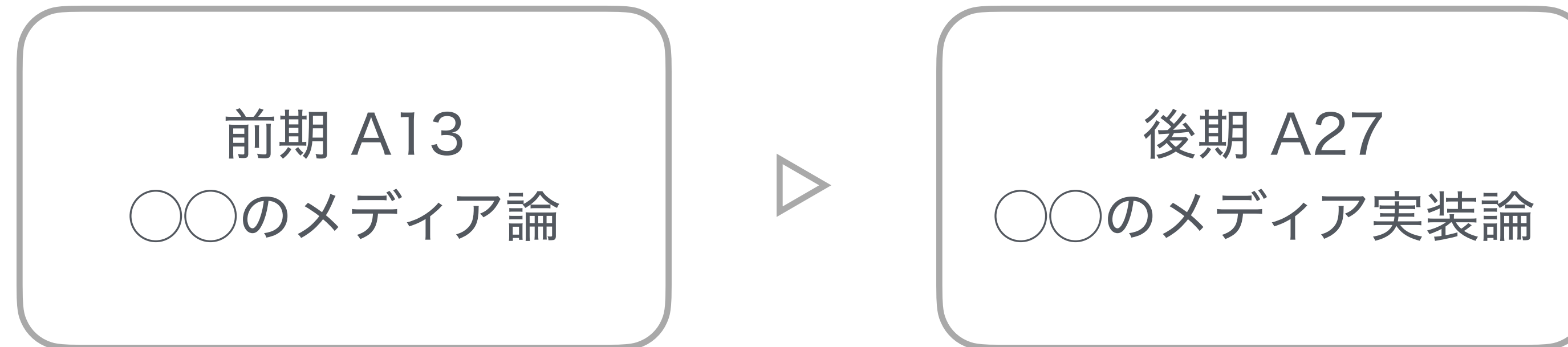
2023年度

渡邊 賢悟 (渡辺電気株式会社)

# 受講のてびき

---

- ・ 本資料は作成者の解釈が含まれます, 答えのない議論があります
- ・ 前半で1テーマの紹介, 後半でテーマを深める議論を行います
- ・ 前期と後期がリンクしています. 予習復習の参考にしてください



# 本日のテーマ

---

- ▶ **無意識に溶け込んだ「当たり前前のメディア」**

# 前期概要

---

- ▶ **メディアで社会をサイクルさせる**
  - ▶ メディアの場を形成し, 各個を尊重する
  - ▶ 個人の思考を主張しあいつつ, 結ぶ
  - ▶ 美の主観性/普遍性を思索, 社会実装へ活かす
  - ▶ メディアサイクルを志向して活動する

# インフラストラクチャ

---

- ▶ 下支えするもの, 福祉・経済・社会に必要な公共施設, 社会基盤
- ▶ **メディア・インフラストラクチャ**という言葉を考える
  - ▶ 広く普及しているメディアの場
    - ▶ 例: 新聞, テレビ, インターネット, 各種リモートサービス
  - ▶ **社会の中でメディア・サイクルを継続的に駆動させる試み**
    - ▶ サイクルを短期で終わらせないこと

# メディアサイクルとインフラストラクチャ

---

- ▶ メディア・サイクルにおいて場や表現は更新される
  - ▶ 場の物理的な維持は重要ではない (一般的なインフラとの相違点)
  - ▶ メディア・サイクルの継続 = メディアのインフラ化
- ▶ メディア・インフラストラクチャの指標
  - ▶ 閲覧性, 情報量, 更新度, アーカイブ頑健性, 場の文化の尊重
  - ▶ 人口, 交流頻度, 人的流動性, 空間的流動性, 時間的流動性

# まとめ

---

- ▶ メディアの場も短期間で終わると社会的意義が失われやすい
- ▶ メディアサイクルを継続的なものにしていきたい
- ▶ メディア・インフラストラクチャ
  - ▶ メディアの場を活動基盤として活性化, 普及する試み
  - ▶ 場の実体の在り方は変わっても良い, 活動の維持が本質
  - ▶ 特にアーカイブ性との関連が深く, さらに重要になると思われる

# 本日の議論・考察一助

---

- a. メディアのサイクル, モデル, インフラストラクチャの関係を整理する
- b. メディア・インフラストラクチャの指標は他に何が考えられるか
- c. 具体的なメディア・インフラストラクチャ構築に必要なことを議論



# 次回予定

---

**Creative Application 総論**

# 参考文献

---

1. 藤田一照, 「アップデートする仏教」, 幻冬舎, 2013
2. 藤田一照, 永井均, 山下良道, 「仏教3.0を哲学する」, 春秋社, 2016
3. 飲茶, 「史上最強の哲学入門」, 河出文庫, 2015
4. 飲茶, 「史上最強の哲学入門 東洋の哲人たち」, 河出文庫, 2016
5. 森田真生, 「数学する身体」, 新潮社, 2018
6. 西田幾多郎, 「善の研究」, 青空文庫, 1979
7. 藤田正勝, 「日本哲学史」, 昭和堂, 2018井筒 俊彦, 「イスラーム文化 - その根底にあるもの」, 岩波書店, 1991
8. 竹田青嗣, 「現象学入門」, NHK出版, 1989
9. 岡本 裕一郎, 「いま世界の哲学者が考えていること」, ダイヤモンド社, 2016
10. 西垣 通, 「AI原論 神の支配と人間の自由」, 講談社選書メチエ, 2018
11. マルクス・ガブリエル著, 清水 一浩訳, 「なぜ世界は存在しないのか」, 講談社選書メチエ, 2018
12. アレックス・オスターワルダー他著, 小山龍介訳, 「ビジネスモデル・ジェネレーション ビジネスモデル設計書」, 翔泳社, 2012
13. ティム・クラーク他著, 神田昌典訳, 「ビジネスモデルYOU」, 翔泳社, 2012
14. ティム・クラーク、ブルース・ヘイゼン他著, 今津美樹訳, 「ビジネスモデル for Teams」, 翔泳社, 2012
15. 沼上幹, 「組織デザイン」, 日本経済新聞出版, 2004